

資料

まちづくり市民会議
市民ワーク・ショップの活動報告

平成28年12月

目次

1. 市民ワーク・ショップの概要

(1) 背景	1
(2) 目的	1
(3) 対象	1
(4) 実施体制	2

2. 活動報告

(1) 第1期の活動成果	3
(2) 第1期の活動内容	5
(3) 第2期の活動成果	6
(4) 第2期の活動内容	7

所属団体一覧	8
--------	---

資料編	9
-----	---

ワーク・ショップとは・・・

「多様な人たちが主体的に参加し、チームの相互作用を通じて新しい創造と学習を生み出す場」と定義されています。ワーク・ショップに集まった人々が思いやアイデアを語り、みんなが安心してのびのびと深め合っていく。そして、議論を通じて新しい発見をしたり、新しい何かを作り出していく。そういった話し合いを生み出し、創造や学習につなげていく場となります。

1 市民ワーク・ショップの概要

(1) 背景

東日本大震災を機に、「防災・災害対策機能」、「市民活動・交流を行う新たな市民サービスへの対応」、「市庁舎の耐震性・分散化」、「保健センターの復旧」など市が抱える重要な課題を解決するため、「中心市街地拠点施設」の整備を検討してきました。

同時に、現在の本庁舎・分庁舎の機能移転後の用地については、国道 106 号と国道 45 号に囲まれたアクセス性が良い貴重な財産であり、中心市街地に賑わいをもたらす重要な場として、有効に活用することとして、利用計画を検討しています。

また、現在の中心市街地は、東日本大震災、平成 28 年 8 月の台風 10 号豪雨により、2 度の大きな被害を受け、商業機能の衰退も懸念されており、これらを背景に、まちなかの活性化策を見出すことが重要と考え、広く意見を募集することとしました。

(2) 目的

現庁舎跡地の整備については、整備後により多くの市民に利用され、必要に応じて、場所のあり方を見直し、その場所を育てていくことが重要です。そのため、作る側（行政）の一方的なアイデアで計画を作るのではなく、市民に親しまれる場として、ワーク・ショップという手法で使う側（市民）の視点で広く意見を募集したいと考えました。

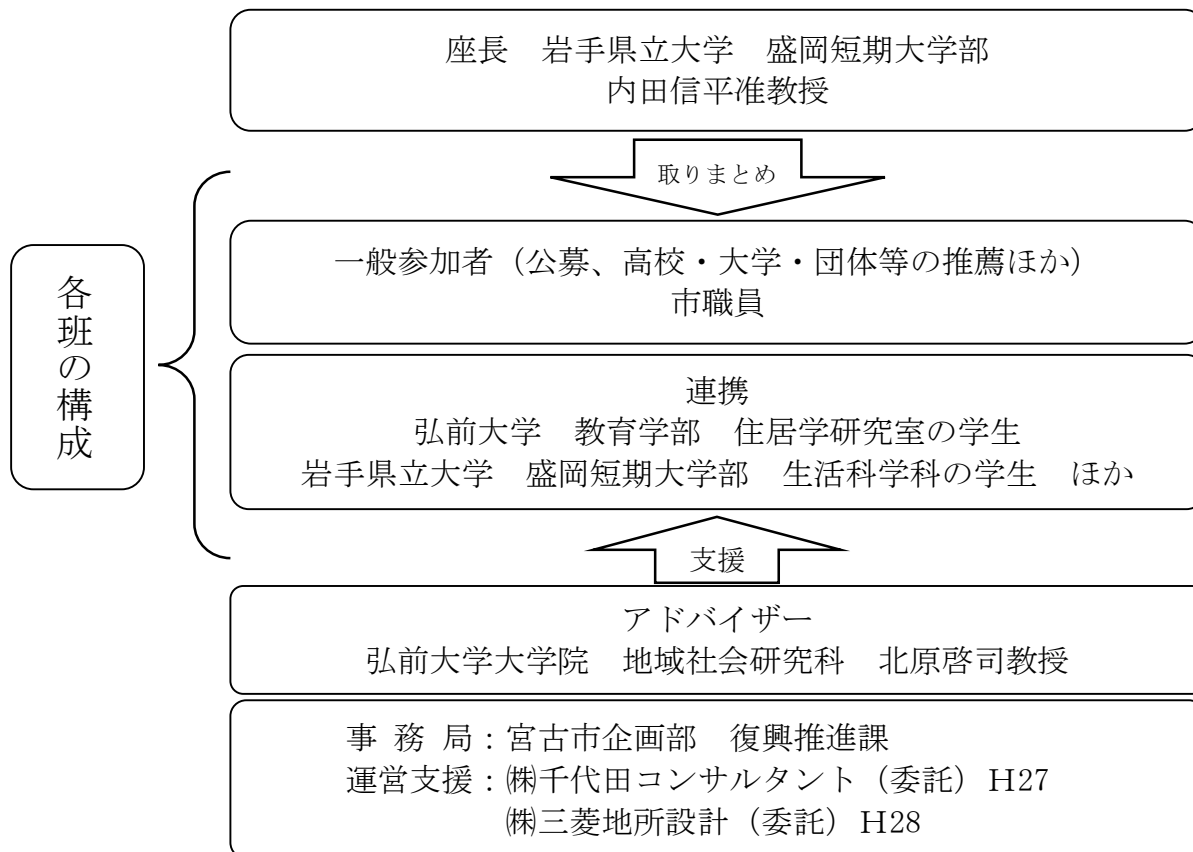
第 1 期は、賑わいを生み出すアイデアを募集し、市庁舎跡地基本構想へ反映することを主目的としました。

第 2 期は、アイデアの一部を実践し、活動の効果を実証するとともに、主体的にまちづくりに参加しようとする市民の意識や連携を深め、跡地整備に向けて、機運を高めることを目的としました。

(3) 対象

市内在住の概ね高校生から 40 歳代までで、まちづくり団体及びグループなどの構成員ほか

(4) 実施体制



2 活動報告

(1) 第1期の活動成果

第1回では、ワーク・ショップのキックオフとして、弘前大学の北原教授に、「まち育てのススメ」と題して講演をいただきました。

■まち育てのススメ

これまでの「まちづくり」は、「つくる人」つまり役所が主体で、市民は与えられたものをほめたり文句を言うだけの、形だけの参加でした。でも、そのまちに暮らす市民の皆さんは、「つくる」プロではないですが、「たべる」側のプロです。「つくる」人と「たべる」人とが、お互いの役割を尊重しながら、新しい関係をつくっていくことが大事になります。これからの高齢化の進む社会は、今ある資源を活用する時代です。そこで、自分たちのまちを「育てていく」という発想が大切になります。復興のまちづくりに本当に必要な視点は、まちを「たべる人」の視点です。まちを「たべる人」の武器がワーク・ショップ。足を使い、目と耳を使って課題を見つけだし、自分たちの言葉で考え、創造する…そのための道具がワーク・ショップなのです。

(「まち育てのススメ」より引用)

第2回以降は、活性化のアイデアを考えるため、まち歩きを実践したほか、「先輩に聞く！昔のみやこまち」と題して、タウン情報社の橋本代表に昔のまちの様子を教えてください、想像を膨らませながら、各班に分かれて、拠点施設や市庁舎跡地での過ごし方を1つのストーリーとしてまとめました。

「過ごし方のつながりから発想した、市庁舎跡地の利活用」のアイデアの多くは、単なる“場所”や“ハコモノ”ではなく、“〇〇〇ができる場所”、“〇〇〇して過ごす場所”となり、人が集い、人が育つ場所として、アイデア（シナリオ、シーン）を出し合い、グループで共有しました。

※ワーク・ショップで発表された「市庁舎跡地の利活用」のためのキーワード

- ・多世代の人々が日常的に集まれる場所
- ・「様々なこと」ができる場所
- ・イベントにより賑わう場所
- ・四季折々に楽しめる場所
- ・跡地を拠点として広範囲に楽しめる場所（近隣施設との連携）

第1期で共有したアイデアをまとめたイメージイラストは、「宮古市庁舎跡地活用に関する基本構想（平成28年6月策定）」に反映されました。



「つながり」のイメージ



跡地活用のイメージ



イラスト作成：おーみえり

(2) 第1期の活動内容

	日 時	参加者数	テ ー マ
第1回	平成26年11月29日	49人	講演「まち育てのススメ」 講師 弘前大学 北原教授 ワーク・ショップ「中心市街地地区の活性化のアイデア」
第2回	平成26年12月20日	52人	「中心市街地地区の活性化(まち育て)のアイデア」
第3回	平成27年1月24日	36人	「冬のみやこ、まち歩きワーク・ショップ」
第4回	平成27年2月21日	29人	「冬のまち歩きワーク・ショップ～マップづくり」
第5回	平成27年4月11日	29人	講演「先輩に聞く！昔のみやこまち」 講師 (株)タウン情報社 橋本代表
第6回	平成27年5月23日	24人	講演「シナリオづくりに向けて」 講師 弘前大学 北原教授 ワーク・ショップ「シナリオづくり～市庁舎跡地の利活用に向けて」
第7回	平成27年6月20日	29人	「シナリオづくり～まち育て戦略会議ワーク・ショップ～市庁舎跡地の利活用に向けて」
第8回	平成27年8月1日	30人	「私たちは、宮古のまちなかで、こんなふうに過ごしたい！～市庁舎跡地の過ごし方、食べ方、楽しみ方～」

(4) 第2期の活動成果

第1回では、第1期のアイデアを、①スポーツ系、②広場あそび系、③ステージ系、④市(マルシェ)系、⑤くつろぎ(リラックス)系の5つに分類し、テーマ別にアイデアを出し、第2回に、「いつ」「誰が」「何を」「どこで」できるかを考え、実現に向けた戦略を考えました。

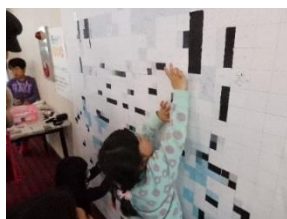
第3回では、アイデアを実践するためのフィールドを見つけるため、まち歩きを行いました。その後、グループごとにアイデアを発表し、提案された全てのプロジェクトについて、「実現する案」の投票を行いました。

第4回は、その結果を基に、4つのグループに分かれ、第7回までの間で実現するために必要な物品や経費やスタッフ配置やスケジュールなどを戦略としてまとめました。

第8回は、活動の集大成として、「みやこ・わくわくストリート 2016」を開催しました。それぞれの活動の様子は以下のとおりです。多くの皆様にご来場をいただき、市分庁舎や商店街の駐車場、空き店舗だった「空間」などが、生き生きとした活動の「場所」に変わる様子を目の当たりにした1日となりました。この活動を単発の取り組みとして終わらせず、市庁舎跡地整備後の中心市街地の活性化に結び付ける活動となるよう、今後もトライアルイベントとして継続していきたいと考えています。

●茶っとプロジェクトー小成園 Cafe

末広町商店街の小成園の2階スペースを利用したカフェを開設した。また、小さな色紙にメッセージや絵を描いて台紙に貼る参加型モザイクアートを実施した。



●健康長生きプロジェクトーはじめてみヨ〜ガ

茶っとプロジェクトと同じ会場を利用して、11時から1時間のヨガ体験を実施した。体験終了後には、地元の「潮風ハーブ」を使用したハーブティーの試飲を行った。



●宮古市アクティ部フェスティバル 2016

末広町商店街にある駐車場でスポーツ体験広場を実施した。スラックライン、キックターゲット、ストラックアウトに挑戦し、得られたポイントに応じて、水鉄砲で景品が貰えるゲームを実施した。



●昭和感プロジェクトーみやっ子商店

市役所分庁舎駐車場で、昭和の香りが漂うイベントを実施した。駄菓子や昔のおもちやの販売のほか、けん玉やメンコなどの昔遊び体験ができるコーナーを設置した。またフリーチョークアートも実施した。



(4) 第2期の活動内容

	日 時	参加者数	テ ー マ
第1回	平成27年12月5日	38人	「これまでのワーク・ショップで共有できたアイデアやイメージを実現するためのキックオフ!!」
第2回	平成28年1月23日	32人	「アイデアの実現に向けて、戦略を描いてみよう!」
第3回	平成28年5月28日	29人	「市役所移転後の場所が、賑わいの場となるように～まち歩きからアイデアの実現に向けて動き出そう～」
第4回	平成28年6月25日	28人	「アイデアを実現、“まち育て”の戦略をつくろう!」
第5回	平成28年7月23日	25人	「“まち育て”の戦略をつくって発信しよう!」(1)
第6回	平成28年8月27日	22人	「“まち育て”の戦略をつくって発信しよう!」(2)
第7回	平成28年9月24日	24人	「“まち育て”の戦略をつくって発信しよう!」(3)
第8回	平成28年11月6日	32人	「みやこ・わくわくストリート2016」

■まちづくり市民会議（市民ワーク・ショップ）参加者 所属団体一覧

No.	参加者所属団体名
1. 学生、生徒	
(1)	県立宮古高等学校
(2)	県立宮古北高等学校
(3)	県立宮古水産高等学校
(4)	県立宮古商業高等学校
(5)	県立宮古工業高等学校
(6)	県立大学宮古短期大学部
(7)	NPO みやっこベース
(8)	弘前大学
(9)	岩手大学
2. NPO 等まちづくり団体	
(1)	NPO エムジョイ
(2)	NPO 輝きの和
(3)	NPO 三陸 NPO 支援センター
(4)	NPO 三陸情報局
(5)	NPO みやこラボ
(6)	宮古海戦組
(7)	NPO みやっこベース
(8)	まんなかマルシェ実行委員会
(9)	ほっこりみやこ実行委員会
3. 関係機関、団体	
(1)	宮古商工会議所
(2)	宮古観光文化交流協会
(3)	宮古市社会福祉協議会
(4)	陸中宮古青年会議所
(5)	末広町商店街振興組合
(6)	中央通商店街振興組合
(7)	株三陸鉄道
(8)	株キャトル宮古
(9)	宮古エフエム放送(株)
(10)	みやこ映画生活協同組合
(11)	市立宮古小学校
(12)	市立第一中学校
(13)	Art Eriy's
4. 一般公募	

(敬称略)

資料編

①第1回ワーク・ショップ ～中心市街地地区の活性化のアイデア～

■基調講演

弘前大学 北原先生のお話

「まち育てのススメ」



復興まちづくりに本当に必要な視点
・つくる人（行政）とたべる人（市民）の協力
・たべる人の武器がワーク・ショップ。
足を使い、目と耳を使って課題を見つけ、創造する。

■ワーク・ショップ

- ①そのまちで自分がしてみたいこと
 - ②そのまちで他の人がやっていること
 - ③こんなまちはいやだ！
- の3つの切り口で意見を出し合う



②第2回ワーク・ショップ ～中心市街地地区の活性化（まち育て）のアイデア～

■ワーク・ショップ

「まちに活気がある」「賑わっている」というイメージを実現するためのアイデア
次の各分野に分けて・・・

- A:「駅南側の新しい施設」
- B:「現市庁舎の跡地」
- C:「まちなか（中心街）」
- D:「その他」



■各班からの発表

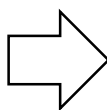


〔意見の例〕

- B班…住むなら宮古・行くなら宮古
・観光インフォメーション…観光案内
グルメのフリーペーパー
・NPOなどが活動できるスペース
・星がきれい…夜の観光
- D班…ありのまま宮古Ⅱ
・歴史…震災を若い世代に伝える
・市内循環バスを！
・学生が集まれるスペースがほしい
- G班…「珍百景の街」みやこ
・商店街に「隠れサーモンくん」を！
・来訪した有名人の手形を残す
・市役所を鮭の形にしては？

③第3回ワーク・ショップ ～冬のみやこ、まち歩きワーク・ショップ～

- 「まち歩きの心得」を伝授
弘前大学 北原先生からのお話
- いざ、まち歩きへ出発



- 皆さんが選んだ「今日の1枚」



「昭和」ストリート



若い女子、大コート！



いまでしょ!!

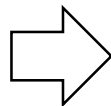
④第4回ワーク・ショップ ～冬のまち歩きワーク・ショップ～マップづくり～

- 第3回ワーク・ショップで撮影した写真を
使って各班でのマップづくり



- ① 良い印象、② 悪い印象、③ 気になる写真など、
コメントを付けた写真を地図に貼り付け

- 各班で作った
まち歩きマップの発表



B班 世代別デートコースの提案



D班 古き良き「あうえーこ」

⑤第5回ワーク・ショップ ～講演「先輩に聞く！昔のみやこまち」～

■特別講座「先輩に聞く！昔のみやこまち」

紹介いただいた、昔の「みやこまち」



講師 (有)タウン情報社 橋本久夫さん

「みやこわが町」の創刊からのお話や、明治から昭和にかけて撮影された写真を紹介しながら、撮影された時代の様子や写真にまつわるエピソード、現在の“みやこまち”との比較など貴重なお話を聞くことができました。



山口川本町通り



宮古橋と山田線鉄橋

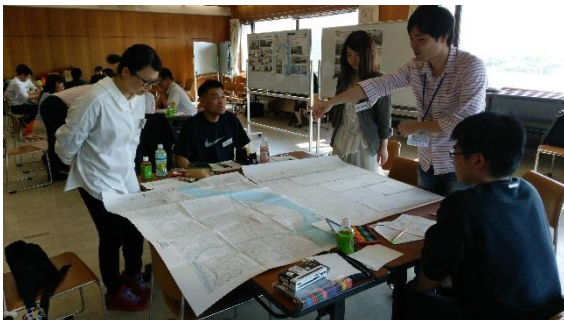
⑥第6回ワーク・ショップ ～シナリオづくり～市庁舎跡地の利活用に向けて～

■各班のシナリオづくり

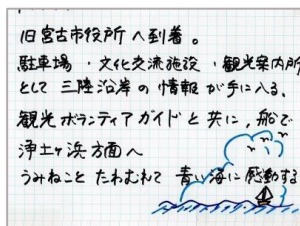
「ある日の土曜日の過ごし方」と題し、4～5枚の紙芝居形式のシナリオづくり

【ルール】

- ①主人公は自由に選定すること
- ②宮古市内をフィールドに、「市役所跡地」か「新拠点施設」を1シーン入れること



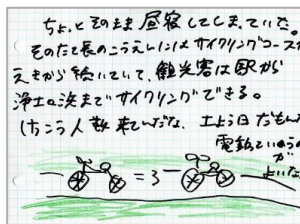
■シナリオの1シーン（市役所跡地のシーン）



帰省した同級生達と船で浄土ヶ浜へ！



子どもが遊ぶのを見ながらママ友とおしゃべり



電動自転車で浄土ヶ浜までサイクリング



高校生カップルは公園でバドミントン

⑦第7回ワーク・ショップ

～シナリオづくり・まち育て戦略会議ワーク・ショップ・市庁舎跡地の利活用に向けて～

■ワーク・ショップ

市役所跡地での過ごし方のシーン作り

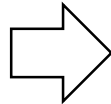


市役所6階から敷地を眺める

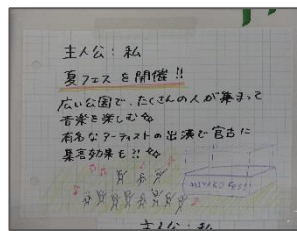


各班でアイデアをグループ分け

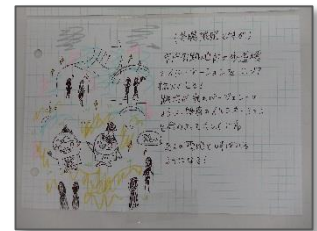
■発表



■シーンの例



広い公園で夏フェス
(音楽イベント) を開催



歩道橋と合わせて
イルミネーション

⑧第8回市民ワーク・ショップ

私たちは、宮古のまちなかで、こんなふうに過ごしたい！～市庁舎跡地の過ごし方、食べ方、楽しみ方～

■ワーク・ショップ

まちなかでの過ごし方ストーリー作り



■発表：市長へのプレゼンテーション



A班「森・山・川と中心市街地をつなげる！」

B班「1日宮古で Enjoy Summer！」

C班「デートも、文化も、酒も 約4kmの
みやこ物語」

D班「四季を楽しむ！！宮古」

E班「学生・社会人・家族・高齢者」

×「平日・休日」×「春・夏・秋・冬」

■講評者



左から、北原先生、山本市長、植田先生

①第1回市民ワーク・ショップ

これまでのワーク・ショップで共有できたアイデアやイメージを実現するためのキックオフ！！

■ワーク・ショップ

第1期のワークショップで出されたイメージを5つに分類し、それぞれのテーマに沿ってアイデア出し

- ①スポーツ系
- ②広場あそび系
- ③ステージ系
- ④市（マルシェ系）
- ⑤くつろぎ（リラックス）系



■発表

- ①スポーツ：年齢問わず、誰でもできるスポーツを！
- ②広場あそび：海を感じる広場に、幅広い世代が”春夏秋冬”楽しめるようにしたい
- ③ステージ：市民の発表の場として、既存イベントへの活用も
- ④市（マルシェ）：やれることあるんじゃないか？広場から才能発掘！
- ⑤くつろぎ（リラックス）：ゆったりリラックス、勉強やカフェでリラックス



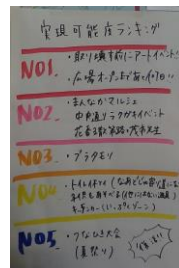
②第2回市民ワーク・ショップ ～アイデアの実現に向けて、戦略を描いてみよう！～

■ワーク・ショップ

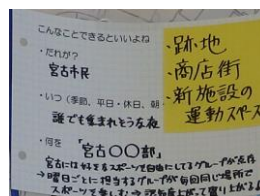
アイデアの実現に向けて、「いつ」「誰が」「何を」「どこで」できるか？について話し合い、さらに「こんなことができるのかな」と考えたアイデアを「いつ、誰が、何を」という形式でカードに書き出す。



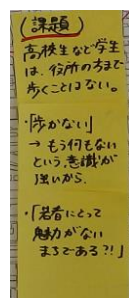
■発表（抜粋）



「実現可能性ランキング」
市庁舎で「遊ぶこと」と「壊すこと」を一緒に行うなど、市民が参加する可能性のランキング



「宮古〇〇部」
部員が出かける場として、跡地の空間がつながる。



高校生が集まる商店街とするには何があればよいか？という問いに答えが出なかったが、その問い自体が重要。宮古でどう過ごすか、将来宮古に戻ってきたいという気持ちにつながる。

③第3回市民ワーク・ショップ

市役所移転後の場所が、賑わいの場となるように～まち歩きからアイデアの実現に向けて動き出そう～

■ワーク・ショップ

アイデアを実践するためのフィールドを見つけるためのまち歩き



その後、各グループで「実践したいプロジェクト」をカードに書き出し、「やりたい度」「実現可能性」「実現する上での課題」を整理し、話し合う。



■各班からの発表（抜粋）

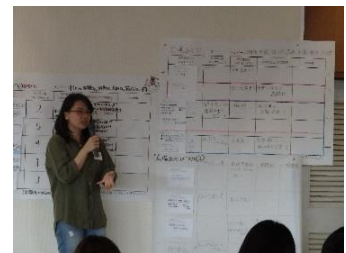
スポーツ：ストリートフェス（音楽・スポーツ）、駄菓子イベント

広場あそび：「いまでしょ」増殖作戦、つなひき大会

ステージ：カフェ・フリースペース、街なかハシゴ旅

市(マルシェ)：空き地バンク、花火の日 for 観光客

くつろぎ（リラックス）：宮古酔いどれ復興祭、ヨガ（健康長生きプロジェクト）



■発表後

それぞれのグループが提案した全てのプロジェクトについて、「実現する（したい）案」の投票を行う。



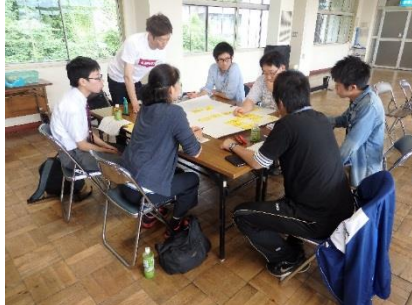
後日、北原先生からのアドバイスを参考にしながら、内田先生と事務局で相談し、今回示されたプロジェクトを「どこでできるか？」を切り口に整理し、改めてグループ分けの案を考える。

④第4回市民ワーク・ショップ ～アイデアを実現、“まち育て”の戦略をつくろう～

■ワークショップ

まず、内田先生と事務局で再度整理した4つのグループに改めて分かれる。

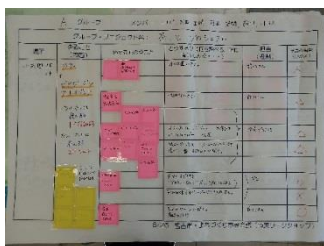
その後、グループごとに、そのプロジェクトで実際にどのようなことを実現するのか、そのためにはどんなことが必要なのか、何が課題なのかについて話し合う。



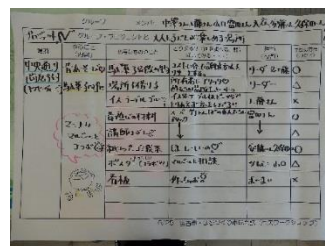
■グループ分け

	どこでできるか？ 可能性のある場所 借りられる場所	できそうなこと（キーワード） →組み合わせてもよい／付け加えてもよい
A	いくつかの屋外スペースを 組み合わせて（いまでしょ、 あおぞら駐車場など）	カフェ、飲食、ビアガーデン、アートイベ ント etc
B-1	屋内スペース （小成園2階、りあす亭、お でんせプラザなど）	(1) 昔遊び（子どもの遊び場プロジェク ト）、駄菓子イベント、カフェ etc
B-2	でんせプラザなど	(2) 健康長生きプロジェクト、ヨガ etc
C	まとまった広場（駅前広場、 市役所駐車場など）	ストリートフェス（音楽・スポーツ）、つな ひき、スラックライン、ダブルダッチ etc

■発表



A グループ：茶とプロジェクト
カフェ、アートイベント



B-1 グループ：大人と子どもが楽しめる場所
昔遊びと駄菓子カフェ



B-2 グループ：健康長生きプロジェクト
ヨガ、ハーブティー



C グループ：宮古市アクティ部フェスティバル2016
サスケ型の大会、障害物クリアゲームなど

⑤第5回市民ワーク・ショップ ～“まち育て”の戦略をつくって発信しよう～！

■ワークショップ

各メンバーが今回まで考えてきたことを含めて、プロジェクトの内容について具体的に話し合う。プロジェクトを周知・発信していくためのPR戦略についても相談する。



実施する候補となる場所を実際に訪問して現地を確認し、絞り込む。



■発表

健康長生きプロジェクト：

10/23（日） 場所は小成園 2階

大人と子どもが楽しめる場所：

10/23（日） 場所は分庁舎駐車場

茶っとプロジェクト：

10/22（土） 場所は小成園 2階

宮古市アクティ部フェスティバル 2016：

10/23（日）、場所はあおぞら駐車場かスポーツオールス向かい



⑥第6回市民ワーク・ショップ ～“まち育て”の戦略をつくって発信しよう！～

■ワークショップ

それぞれのプロジェクトの実行に向けて、次の項目について、具体的な内容を決める。

- ・プロジェクト名称、会場の愛称
- ・当日のタイムスケジュール
- ・スタッフ配置
- ・必要物品
- ・予算見積
- ・実施場所（会場レイアウト）
- ・PR戦略
- ・準備物・経費
- ・当日までのスケジュール



■発表

茶っとプロジェクト：

モザイクアートでどんな絵を作ろう

大人と子供が楽しめる場所→昭和感プロジェクト：

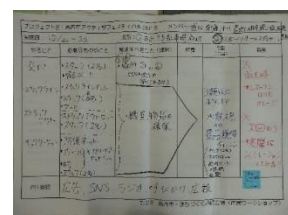
開催場所の名称は「昭和感ひろば」に決定

健康長生きプロジェクト：

茶っとプロジェクトと同日開催しよう

宮古市アクティ部フェスティバル 2016：

水鉄砲とかも面白いのでは・・・



■全体テーマについて

各プロジェクト発表後に、全体プロジェクト名について相談した結果

「みやこ・わくわくストリート 2016」

と決まった。

■facebook の立ち上げ

プロジェクト全体での意見交換や情報発信を行うために、「宮古・まちづくり市民会議」という名前で facebook ページを立ち上げる。



■プロジェクトをつなぐアイデア

4つのプロジェクトをつなぐアイデアとして、Art Eriy's さんから、昭和の頃の地図を見ながら「みやっこモンスター」を探す「みやこさ GO!」という案が示され、当日実施する。



⑦第7回市民ワーク・ショップ ～“まち育て”の戦略をつくって発信しよう!～

■ワークショップ

8/30の台風10号による被害の影響で、市内の各種イベントが10/22、23に開催されることになり、それを受けて各プロジェクトリーダーや事務局などが話し合い、「みやこ・わくわくストリート 2016」は11/6に開催することになる。

延期された期間を活かして、より充実した、また被災された方々を励ます企画になるよう、実現に向けて具体的な準備を進める。



■「みやこ・わくわくストリート 2016」

の内容



同日には、「第5回みやこほっこり映画祭」のプレイベントとして、昭和の宮古の映像を映す「懐かしの宮古発見館」も実施
さらに、末広町～中央通～分庁舎をつなげる企画として、宮古弁から生まれた「みやっこモンスター」を見つけて、景品をゲットする「みやこさ GO!」という企画も同時開催

⑧第8回市民ワーク・ショップ ～みやこ・わくわくストリート 2016～

■各プロジェクト会場の様子

・茶っとプロジェクトー小成園 Cafe

末広町商店街の小成園の2階スペースを利用したカフェ。また、小さな色紙にメッセージや絵を描いて台紙に貼る参加型モザイクアートも実施した。



・健康長生きプロジェクトーはじめてみヨ～ガ

茶っとプロジェクトと同じ会場を利用して、11時から1時間のヨガ体験を実施した。ヨガ体験終了後には、地元の「潮風ハーブ」を使用したハーブティーの試飲を行った。



・宮古市アクティ部フェスティバル 2016

末広町商店街にある駐車場がスポーツ体験広場に変身。スラックライン、キックターゲット、ストラックアウトに挑戦し、得られたポイントに応じて、水鉄砲で景品が貰えるチャンス！



・昭和感プロジェクトーみやっ子商店

市役所分庁舎駐車場が、昭和の香りが漂う場所に。駄菓子や昔のおもちゃの販売のほか、けん玉やメンコなどの昔遊び体験ができるコーナーを設置した。またフリーチョークアートも実施した。



■同日開催イベント

・みやこさ GO！

末広町～中央通～分庁舎の間に、「みやっこモンスター」が20匹隠れており、モンスターを見つければ景品が貰えるイベント。



・まんなかマルシェ Vol.5

中央通エリア（おでんせプラザ、坂庄駐車場）で、ハンドメイド作品の展示・販売、フリーマーケット、楽器作りワークショップなどが開催された。

（主催：まんなかマルシェ実行委員会）



・懐かしの宮古発見館

「第5回みやこほっこり映画祭」のプレイベント。本町の東屋さんを会場に、旧家の見学と、昭和の宮古の映像の映写を行った。（主催：ほっこりみやこ実行委員会）

